

県政要望に対する県庁所管課の対応状況（令和3年3月）

新規 継続	要 望 事 項
【2】	中長期的事項
継続	<p><u>1. 歩行移動の安全確保について</u></p> <p>視覚障害者の移動手段は歩行が主となりますが、視覚障害者が安全に歩行移動するためには誘導ブロックの敷設をはじめ、音響付き信号機やエスコートゾーンの整備などが不可欠となっております。</p> <p>また、公共交通機関においても、特に駅ホームからの転落防止のため、内方線付き点状ブロックやホームドアの設置が喫緊の課題となっております。</p> <p>しかしながら、誘導ブロックの敷設や音響付き信号機の整備は十分とは言えず、事故に至らないまでも障害者が危険性を感じることも日常的に起こっています。また、ホームドアにあっては県内における設置例がつかばエクスプレスに限られた状況です。</p> <p>このようなことから視覚障害者の歩行移動の安全を確保するため、さらに道路における誘導ブロック・音響付き信号機・エスコートゾーンなど安全施設の整備をはじめ、鉄道駅におけるホームの内方線付き点状ブロックの敷設、ホームドアの設置などの安全対策を充実するよう要望いたします。</p>
現況	<p>回答（道路維持課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村のバリアフリー基本構想に基づく重点整備地区を中心に、市町村と連携しながら、歩道の視覚障害者誘導ブロック設置や段差解消等に取り組んでいます。</li> </ul> <p>回答（交通政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国においては、平成28年12月の「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」中間とりまとめにおいて、1日の利用者数が1万人以上の駅から優先して内方線付き点状ブロックを整備することとしているほか、1日当たりの利用者数が10万人以上の駅から優先的に、ホームドアの整備を進めているところであり、鉄道事業者が行うこれらの整備に要する費用の一部を国が補助しているところです。</li> <li>県内の1日あたり利用者数1万人以上の駅では、平成30年度までに全駅で内方線付き点状ブロックが整備済みとなっております。</li> <li>また、県内において、1日あたりの利用者数10万人以上の駅はございませんが、つくばエクスプレス線は、平成17年8月の開業時に、県内6駅を含む全ての駅にホームドアが設置されております。</li> <li>このような取組のほか、鉄道事業者では、駅でのハード整備に加え、社員へのサービス介助士資格の取得や接遇対応などのソフト対応にも取り組んでいただいております。</li> </ul>

令和 3年 度の 方向	<p>回答（道路維持課）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 今後も、歩行移動の安全確保を着実に進めることができるよう、市町村と連携して取り組んでまいります。</li></ul> <p>回答（交通政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 安全対策設備の整備については、鉄道事業者において、主導的に取り組んでいただいているところであり、県といたしましても、転落事故防止設備の整備や、乗降時の段差解消などのバリアフリー化について、鉄道事業者への要望を行っていただいております。</li><li>• さらに、安全対策の取組として、鉄道駅等でお困りの方への積極的な声かけを呼びかける「声かけ・サポート」運動への協力を令和2年度から開始したところです。</li><li>• 引き続き、駅利用者の安全性の向上の取組を継続してまいります。</li></ul>
----------------------	--